

市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース

vol.68

ITAMI大好き!

2016年5月

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、ポストイング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、議長公務の様子などを議員活動と同時にご報告しています。



相崎佐和子

## 伊丹空港が民間運営に！ ～「関西エアポート」運営開始

大阪国際(伊丹)空港の運営が、この春から100%民間会社である「関西エアポート」になりました。振り返れば、約8年前に伊丹空港の廃港論が浮上して大きな話題に。それが1つの契機となり、関西国際空港と伊丹空港の合同運営が決定され、H24年7月に100%国出資の「新関西国際空港 株式会社」が、両空港の一体運営を開始しました。その後コンセッション(運営権委譲)が進められ、そして今春、完全な民間会社(オリックスとフランスのヴァンシ・エアポート、他パナソニックや阪急阪神ホールディングス、南海電気鉄道等の企業30社で構成)である「関西エアポート(株)」が、「新関西国際空港(株)」から運営を引き継ぎ、両空港の運営会社として事業を開始しました。

伊丹空港と関空の  
周辺の市長がズラリ！

4月23日(土)には「関西エアポート」開始記念式典が開催され、大阪府の松井知事はじめ両空港の地元自治体のトップが勢ぞろい。関西エアポートへの期待が現れた光景でした。私も伊丹市議会代表で参列。

伊丹空港の地元として関西エアポートには、安全と環境(騒音)に万全を期した上で、特性や利用者ニーズを十分に踏まえ、伊丹空港をより適切かつ有効に活用することを望むところです。そしてオール関西の視点で、全体的な活力の底上げを願っています。



## 阪神間で団結！ ～阪神市議会議長会～

「阪神市議会議長会」なる会があります。これは阪神間の市議会議長が集まり、情報交換・交流・要望活動などをする会。9市(西宮・尼崎・宝塚・川西・芦屋・三田・篠山・丹波・伊丹)＋神戸市(相談役)の10市で構成されています。H28年度は伊丹市が会長であり、会の充実と発展に尽力中です。

4月18日(月)には定例会を開催し、H28年度の予算案などを承認いただきました。

阪神市議会議長会には、2つの大きな意義があると捉えています。

1つは情報交換。近隣市同士での施策などの情報シェアは大変参考になります。自市の施策のヒントになりますし、実際に話すことで表に出にくいメリットやデメリットを知ることもあります。この日は、医療体制の充実・待機児童の状況と対策・見守りカメラへの見解などについて各市で状況を提供しあいました。

もう1つの意義は要望活動。阪神間で共有する課題について、一致して国や県に要望を届けることは、単独市で要望するより効果が高いところです。今回は、見守りカメラについて法整備と補助金制度を求める要望を出すことで決定しました。

都市間競争の時代と言われ、各自治体が特性を伸ばし活性化を目指す昨今ですが、近隣市とパイを奪い合うのではなく、連携して全体の活性化を進めていきたいと思っています。

